

「中日对照」

日语睿读

哲理美文篇

总主编 周庆玲
主编 严玉皎



日语睿读系列

日语睿读 哲理美文篇

总主编 周庆玲

主 编 严玉皎

编 者 万 芳



内 容 提 要

本书精选优美的日语哲理散文及哲理寓言,表达文章作者对人生、世界及一些事物的思考和看法,内容积极向上。全书中日文对照,文后附难词解释,读者可在提高日语阅读水平的同时,启发自己的思索。书中还参照日语能力考试形式设计了练习题,让本书更具实用性。

图书在版编目(CIP)数据

日语睿读.哲理美文篇:汉日对照/严玉皎主编. —上海:上海交通大学出版社,2013

ISBN 978-7-313-09183-3

I. ①日… II. ①严… III. ①日语-汉语-对照读物 ②散文集-日本 IV. ①H369.4:I

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2013)第 006354 号

日语睿读系列

日语睿读 哲理美文篇

主编 严玉皎

上海交通大学出版社出版发行

上海市番禺路 951 号 邮政编码 200030

电话:64071208 出版人:韩建民

上海交大印务有限公司印刷 全国新华书店经销

开本:710mm×1000mm 1/16 印张:10.25 字数:201 千字

2013 年 8 月第 1 版 2013 年 8 月第 1 次印刷

印数:1~3030

ISBN 978-7-313-09183-3/H 定价:29.50 元

ISBN 978-7-88844-757-8 (含 MP3)

版权所有 侵权必究

告读者:如发现本书有印装质量问题请与印刷厂质量科联系

联系电话:021-54742979

前 言

跨入本世纪以来,中国的日语学习热潮依旧高涨。学习日语的人数不断增加,高校日语专业扩张,各类培训机构如雨后春笋,各类日语相关出版物百花齐放。然而,回思起来,中国的日语学习似乎又走上了当年英语热潮时的老路,不少人无法学以致用,就算通过死记硬背取得了能力考试资格证书,一旦需要他真的去听去说、去写去读、去翻译就开始头上冒汗。

编者认为造成这样结果与支配中国日语教学市场上的功利心理脱不开关系,学的人固然抱着功利心去学,一心追求速成;教的人也应这种需求抱着功利心去教,希望短时间内能让学生开花结果。然而,有句老话“欲速则不达”。生活是语言之母,缺乏生活体验的语言学习必定事倍功半。当学习者把日语仅仅作为一门外语工具时,对他们来说,日语始终只是书面的或声音的符号,无法链接心中往事,无法承载人生的体验,是一种如计算机程序一样的程序系统,没有生命力的注入,枯燥乏味,完全丧失了语言自身的魅力。

正是在这个意义上,编者在这里向学习日语的人推荐《日语睿读 哲理美文篇》这本读物。希望通过本书让日语学习者找到语言的灵魂,带着感性去翻阅,带着理性去思考和领悟,为语言找回脉搏与表情,使一个个让我们感到枯燥的词语和表达起死回生。因此编者并不建议大家把本书仅仅当成单纯的日语阅读习题集来对待。希望大家能把本书当作日语学习和生活中的亲密伙伴,通过本书体会日语语言的魅力,找到日语学习的“感觉”。

编者注意到不少人都有在生活中收集名言警句的习惯,我们每个人都有一两句人生的座右铭。通过这些,我们分享前人对人生的感悟,用他们的经验与智慧提醒自己以便能在人生道路上更顺利前行。那些内容打动人心的、使我们产生共鸣的、承载着灵魂的语言我们不会轻易忘却。编者精心收集了59篇哲理短文,它们就像或浓或淡或香或苦的茶,让大家在学习工作的闲暇来一趟心灵之旅。在这过程中,让大家不知不觉地记住日语的词汇和语法表现。喜欢的文章大家甚至可以试着背诵下来。

在选材方面,鉴于市场上有不少同类书籍一般集中选择名家名篇作品,在文体和难度方面都受到限制,有的过于晦涩,编者有意识地扩大了选材范围。除了一些知名作家的作品的节选外,也从网络博客、随笔、民间故事中选择了一些富有哲理、文笔优美、有趣的短文,让大家既能感受名家风范又能欣赏到庶民口味。在每篇文章后对单词及重要的语法现象做了注释,注释标准主要针对国际能力测试N3~N1级常见的词汇与语法。除此之外,在每篇文章后还附有练习题,寓学于乐,让大家在心灵之旅后,一试身手。每篇文章后附有全文翻译,让大家更好地理解全文。



目次

第一单元 亲情・友情・爱情

1. 愛	
愛	1
2. 愛と平和を理想とする人間生活	
以爱与和平为理想的人世生活	4
3. 愛情の本質	
爱情的本质	7
4. 恋	
恋爱	9
5. 恋愛生活と芸術創造	
恋爱生活与艺术创作	12
6. 別れ	
分手	14
7. 夫婦愛	
夫妻爱	16
8. 母の愛	
母爱	19
9. 本当の友達	
真正的朋友	22
10. 友情について	
关于友情	25

第二单元 学习・学问

1. 教養とは何か	
何谓教养	28
2. 教育とは一種の鋳型をつくること	
所谓教育就是一种铸模	30
3. 読書について	
关于读书	33
4. 学生時代の読書	
学生时代的阅读	36
5. 研究者の二つのタイプ	
两种类型的研究者	38
6. 受賞の言葉	
获奖感言	40

7. 知性	
才智	42

第三单元 光阴・人生

1. 青春	
青春	44
2. 人生	
人生	47
3. 人生と昆虫の生態	
人生和昆虫的生态	50
4. 青年がすべきこと	
青年应该做的事	54
5. 青年期と情報	
青年时期与信息	56
6. 日記のない青春への疑問	
对没有日记的青春的疑问	58
7. 荒れた花壇	
荒芜的花坛	61
8. 一日の終わり	
一天的结束	64

第四单元 人际交往

1. 自信	
自信	67
2. 歩幅	
歩幅	70
3. 「感情の正義」と「理論の正義」	
“感情的正义”和“理论的正义”	73
4. 威張る人ほど誉め殺しに弱い	
越是狂妄的人越受不了奉承	76
5. お金を払うときは「笑顔」になるとかっこいい	
带着笑容付钱有风度	79
6. 命のある言葉	
有生命力的语言	81
7. 单刀直入	

单刀直入	84
------------	----

第五单元 生活百味

1. 貧乏	
贫穷	86
2. 分かれ道	
岔路	89
3. 峠	
山岭	91
4. 旅	
旅行	93
5. 一人暮らし	
一个人生活	95
6. 随筆	
随笔	98
7. 顔の美について	
有关颜面美	100

第六单元 生活建言

1. 人間の悩みと過ち	
人的烦恼与过失	102
2. 大切な事は心を込める事	
重要的是尽心尽力	105
3. 少欲知足の勧め	
劝君少欲知足	108
4. 暇の潰し方	
消磨时间的方法	111
5. 幸せに繋がる「習慣」	
给你带来幸福的“习惯”	113
6. 運を鍛える四つの法則	
增强运气的四大法则	116
7. 運の良い人・悪い人	
运气好的人・运气坏的人	119
8. 創造への勇氣	
敢于创造的勇气	121

9. 生活の方向 1	
生活的方向 1	123
10. 生活の方向 2	
生活的方向 2	126
11. 気がついた時が始まり	
人生始于意识到(该做什么)的时候	128
12. 不調のときの神頼み	
不顺之时的求神拜佛	131
13. マイナスな心情を正しく見る	
正确对待负面心情	134

第七单元 哲理小故事

1. 女性ドライバ	
女司机	136
2. 女主人と召使いの女たち	
女主人和女仆们	138
3. 亀	
乌龟	140
4. 若い蟹とその母親	
小螃蟹和它的妈妈	144
5. 三人の時計	
三个人的表	146
6. 小さなねじ	
小小螺丝钉	151
7. 体のそれぞれの部分	
身体的各个部分	154

第一单元 亲情・友情・爱情



愛

愛ということばは、いつから人間の社会に発生したものでしょう。愛という言葉をもつようになった時期に、人類はともかく一つの飛躍をとげたと思います。なぜなら、人間のほかの生きものは、愛の感覚によって行動しても、愛という言葉の表象によってまとめられた愛の観念はもっていませんから。

更に、その愛という言葉が、人間同士の思いがいや、だましあいの媒介物となったのは、いつの頃からでしょう。そして、愛という字が近代の偽善(注1)と自己欺瞞のシンボル(注2)のようになったのはいつの時代からでしょうか。三文文士(注3)がこの字で幼稚な読者をごまかし(注4)、説教壇からこの字を叫んで戦争を煽動(注5)し、最も軽薄な愛人たちが、彼等のさまざまなモメント(注6)に、愛をささやいて、一人一人男や女をだましています。

愛という字は、こんなきたならしい(注7)扱いをうけていていいでしょうか。

愛という言葉をもったとき、人間の悲劇ははじまりました。人類

(注1)偽善(ぎぜん): 伪善

(注2)シンボル: 标志, 象征, 符号

(注3)三文文士(さんもんぶんし): 无聊文人

(注4)ごまかす: 欺骗, 敷衍

(注5)煽動(せんどう): 煽动, 蛊惑

(注6)モメント: 又写作「モーメント」, 契机, 时刻

(注7)きたならしい: 肮脏的, 卑鄙的

愛という声がやかましく叫ばれるときほど、飢えや寒さや人情の刻薄がひどく、階級の対立は鋭く、非条理は横行します。

わたしは、愛を愛します。ですから、このドロドロ^(注8)のなかに溺れて^(注9)いる人間の愛をすくい出したいと思います。

どうしたら、それが可能でしょうか。わたしの方法は、愛という観念を、あっち側から扱う方法です。人間らしくないすべての事情、人間らしくないすべての理窟とすべての欺瞞を憎みます。愛という感情が真実わたしたちの心に働いているとき、どうして漫画のように肥った両手をあわせて膝をつき、存在しもしない何かに向けて上目をつかって^(注10)いられましょう。この社会にあっては条理にあわないことを、ないようにしてゆくこと。憎むべきものを凜然として憎むこと。その心の力がなくて、どこに愛が支えをもつでしょうか。

(宮本百合子「愛」により抜粋)

❶ 文章の内容にあっている文はどれですか。

1. 人間以外の生きものは、愛の感覚によって行動できないため、愛という言葉の表象によってまとめられた愛の観念はもっていない。
2. 「愛」という言葉はもともとよくないものとして存在している。
3. 作者は愛を信じているからこそ、溺れている人間の愛をすくい出したいと考えている。
4. この世には、本当の愛がないから、すべてのことを憎むのは当たり前である。

❷ 訳文

愛

“愛”这个词是什么时候从人类社会中产生的?我想“愛”这个词的产生是人类历史的一大飞跃。因为人类以外的生物虽然可以用行动表达爱,却无法用语言来表达抽象的爱。

“愛”这个词何时成为人们相互误会和欺骗的媒介了呢?何时成为现代社会

(注8)ドロドロ: 沾满泥的, 浑浊的

(注9)溺れる(おぼれる): 淹没, 沉迷

(注10)上目(うわめ)を使う: 眼珠朝上看, 使个眼色



中伪善和自欺的标志了呢?无聊文人用这个词来误导年轻读者,从演讲台喊出这个词来煽动战争。那些轻浮的情场高手们利用各种时机谈情说爱,欺骗一个又一个的善男信女。

我们能这样无耻地对待“爱”这个词吗?

一旦拥有“爱”,人类的悲剧也就开始了。人们越是叫嚣着爱,饥饿、寒冷、人情淡漠等现象就越严重,阶级对立就越尖锐,蛮不讲理的事情越是随处可见。

我喜欢爱。所以想要救赎出被这浑浊世道淹没的人类之爱。

怎么做才好呢?我的方法是站在对立面来对待爱这个观念,即憎恨所有没有人情味的事情以及一切强词夺理和欺骗。爱的感觉在触动我们真实内心的时候,为什么我们还能像漫画人物一样将胖胖的双手合什,跪拜并不存在的某种神灵呢?我们必须让这个社会上不合理之事逐渐消失,断然地憎恨该憎恶之事。如果没有那样心灵的力量,爱的支撑从何而来呢?

正解: 3

2

愛と平和を理想とする人間生活

今いる家は静かそうに思って移ったのですが、後に工場みたいなものがある^{（そうぞう）}、騒々しい^{（注1）}ので、もう少し静かなところをしたいと思って先日も探しに行ったのですが、私はどちらかというと椅子の生活が好きな方で、ちょうど近いところに洋館の空いているのを見つけ、私の注文^{（注2）}には叶った^{（かな）}わけですが、私と一緒にいる友達は反対に極めて^{（きわ）}日本室好み^{（この）}（注4）で、せっかく^{（と）}（注5）説き落して^{（おと）}（注6）洋館説に同意してもらったまではよかったのですが、見たその洋館というのが特別ひどいところだったので、すっかり愛想をつかされて^{（あいそ）}（注7）しまいました。仕方がないから両様の好みを入れて一軒建てようということにして、設計までいたしておりますが、これも今のところ私達の理想に止まって、なかなか実現されそうにありません。

こうした些細^{（ささい）}（注8）な欲望や、理想はともかくとして^{（よくぼう）}（注9）、この地上に誰もが求め、限りもなく望む^{（ぞむ）}（注10）ものは平和と愛ではないでしょうか。各々求めるところの形は皆違ひましようけれど、私達の理想とするものは、愛と平和の融合^{（ゆうごう）}（注11）をおいて^{（らくえん）}（注12）、この世の楽園は考えられないと思います。

（注1）騒々しい（そうぞうしい）：吵闹的，嘈杂的

（注2）注文（ちゅうもん）：要求

（注3）叶う（かなう）：实现

（注4）極める（きわめる）：极力地

（注4）好み（このみ）：爱好

（注5）せっかく：难得的，好不容易

（注6）説き落す（ときおとす）：说服

（注7）愛想を尽かす（あいそをつかす）：厌倦，不再喜欢

（注8）些細（ささい）：些微的

（注9）～はともかくして：……暂且不提，且不说

（注10）望む（のぞむ）：希望，盼望

（注11）融合（ゆうごう）：融合

（注12）～おいて：除去……之外

しかし、常に^(注13)この世に争闘^(注14)が絶えない^(注15)と同時に、それは実現し難い^(注16)ものだと思います。例えば親子間の愛——この世にたった一つしかない経緯^(注17)でも、どれだけ円満^(注18)にいていましょう。愛と平和——それは今の経済学、哲学とかの学問で説明したり、解剖^(注19)したりする論理としての論理でなく、皆の分かり切った^(注20)常識として、人間の生活に自由なものとなって来たら、愉快なことだと思います。

(宮本百合子「愛と平和を理想とする人間生活」により抜粋)

●質問一 下線の文の意味はどう理解すればいいですか。

1. 作者は人間の生活より、椅子のように静かに生活するほうが好みである。
2. 作者は椅子に座って生活することが好きである。
3. 作者は違う椅子を集める好みがある。
4. 作者は洋風な生活が好きである。

●質問二 作者はどうして自分の家のことに言及したのですか。

1. 自分の家の後ろにある工場への不満を訴えるためである。
2. 自分と友達の見解の齟齬に不満を持っていることを言いたいのである。
3. 理想の家を求めるのは難しいことだと言いたいのである。
4. 人間の現実生活では、いささかな欲望と理想でも叶うことも難しいということを論述したいのである。

●質問三 この文章の主旨は次のどれですか。

1. 愛と平和は論理上で研究すべきでなく、生活の中から求めるべきである。
2. この世に争闘が絶えないかぎり、愛と平和が望めない。

(注13)常に(つねに): 常常

(注14)争闘(そうとう): 争斗

(注15)絶える(たえる): 断絶

(注16)～難い(～がたい): 难以……

(注17)経緯(いきさつ): 经历, 体验, 过程

(注18)円満(えんまん): 圆满

(注19)解剖(かいぼう): 解剖, 剖析

(注20)分かり切る(わかりきる): 透彻明白, 非常明白

3. 人間は欲望や理想をもっても、実現^{じつげん}しがたいものである。
 4. 自由こそ、愛と平和を実現^{じつげん}する前提^{ぜんてい}である。

◎ 訳文

以爱与和平为理想的人世生活

我现在的住处是个看上去很安静的地方，所以才搬来居住。但是后来却发现住宅后面像是有个工厂，非常嘈杂，于是前些日子便想去找个更安静点的地方。说起来我更喜欢欧式生活，最近恰好找到一间使我如愿以偿的空洋房，可是与我同住的朋友却极力反对，因为她喜欢和式房间。好不容易说服了她同意住洋房，谁知我找到的那间洋房却是特别糟糕的一间，完全让人喜欢不起来。实在没法子，决定综合我两人的爱好自己盖一幢房子，甚至都开始设计起来，结果至今为止也只停留于我们的理想，似乎很难实现。

且不说人们的这些小小的心愿呀理想，这个世界上几乎所有人都在追求着的、无限渴望着的难道不是和平与爱吗？可能每个人追求的形式有所不同，但我们最终的理想不过是在这个世界上寻求一个充满爱与和平的乐园罢了。

然而，只要这个世上争斗不断，这个理想就很难实现。比如说父母与子女间的爱——这个世间独一无二的情感体验，又能达到多圆满呢？爱与和平——不是一个用今天人类的经济学、哲学等学问就能说明、剖析的理论，而是一个大家早就明白的常识，如果人类能活得自由，那就是让人愉快的事。

正解

質問一：4 質問二：4 質問三：1

3

愛情の本質

人はだれでも利己心^(注1)を持ち、また愛情を持っている。利己心と愛情とはまったく反対の性質のものである。利己心とは他人を傷つけて^(注2)も、自己の利益を守ろうとする心であり、愛情とは自己を犠牲^(注3)にしても、その人の幸せのために尽くそうとする心である。

愛情がさらに純化し高度化して、利己心から完全に分離し独立するなら、本当に相手のために相手の幸せを願うことができるようになる。

自分は桜の花が好きだ。彼も桜の花が好きだという。そこで私は彼に焼き餅を焼く^(注4)だろうか。そんなことはない。むしろ私と彼とは、気持ちがあって仲よくなれる。

自分は花子が好きだ。彼も花子が好きだという。すると私はたちまち焼き餅を焼く。なぜか。私は花子から愛情の反対給付^(注5)を望んでいるからである。

真に純粋の愛情、利己心からまったく独立分立した愛情は、嫉妬^(注6)することもなく、反対給付も望まない^(注7)。しかし、一般の愛情は、表面的には利己心の反対物のように見えながら、その根本^(注8)は利己心に結びついているので、愛情の反対給付を強く求め、それが満たされない^(注9)と荒れ狂う^(注10)。

愛情が高度に純化すれば、自分の生命さえも捨てて人々の幸せの

(注1)利己心(りこしん): 利己心

(注2)傷つける(きずつける): 伤害

(注3)犠牲(ぎせい): 牺牲

(注4)焼き餅を焼く(やきもちをやく): 吃醋, 嫉妒(惯用)

(注5)反対給付(はんたいきゅうふ): 补偿, 报偿

(注6)嫉妬(しつと): 嫉妒

(注7)望む(のぞむ): 盼望, 期盼

(注8)根本(こんぽん): 根本

(注9)満たす(みたす): 満足, 使……満足

(注10)荒れ狂う(あれくるう): 发狂, 疯狂

ために尽くすというように、利己心とはまったく異質^(注11)なものとなるものの、愛情も低級な段階においては、相手を好ましい^(注12)とは思ふものの、自己の満足感のために相手に苦痛^(注13)を与えても平気というような、利己心的なものとなる。

(インターネットにより)

❁ 質問 文章の内容に合わないのはどれですか。

1. 愛情は利己心と正反対のものである。
2. 桜が好きなことと花子が好きなこととの違いは、利己心の有無にある。
3. 普通の人々の愛情の根本は利己心に結びついている。
4. 愛情には二つの段階がある。

❁ 訳文

爱情的本质

无论是谁都有利己心，而且同时怀有爱情。利己心与爱情是一种正相反的东西。所谓利己心是指即使伤害他人也要保住自己利益的想法。而爱情却是即使牺牲自己也要为那个人的幸福倾尽所有的心思。

如果爱情更进一步地纯化和升华之后，与利己心完全分离独立，那就能做到真正地只为了对方而祈盼对方能得到幸福。

自己喜欢樱花。听说他也喜欢樱花，那我会因此而嫉妒他吗？不，没那种事，反倒是说明我和他脾性相投，感情会变得更好。

自己喜欢花子，听说他也喜欢。于是我立刻吃起醋来。为什么呢？因为我期待着从花子那里得到爱情的回报。

真正的纯粹的爱情、与利己心完全分离的爱情，不会有嫉妒，也不会期待获得对方的回报。但是，一般的爱情从表面看来似乎与利己心是相反的东西，其根本却与利己心相连，强烈地期待着对方对自己爱情的回报，如果不能实现就为之癫狂。

如果爱情能高度地纯化，就会变为即使舍弃自己生命也要为了他人的幸福奉献一切的那种与利己心完全性质不同的东西。但是当爱情尚处于低级的阶段，那么就是虽然喜爱对方，也会为了自己的满足而不在乎让对方痛苦的自私的东西。

正解：1

(注11)異質(いしつ)：异质

(注12)好ましい(このましい)：令人满意，喜欢

(注13)苦痛(くつう)：痛苦



恋

事実、私は結婚をするまでは、あるいはしてからも、どの方面からいってもまだ本当の子供だったのです。

私の恋の火は燃えました。けれども自ら求めて得た火で燃えたのではありませんでした。それはただ行きあたりばったり(注1)に出会った火が燃えついたのです。

結婚をするにも、恋をするにも、何を考えねばならないのか、そんなことはまるで知りませんでした。私は夢のように何の苦もなく(注2)、考えもなく、好きだと思い、尊敬した男(注3)といっしょになったのです。

でも、私は、それでも強いられて、いやな結婚をする人達から見れば、自分達がどんなに正しい結婚をし、またどんなに幸せだかという事を誇りにしていました。

私のいい加減(注3)な選択でも、私はいい男にぶつかったのです。私は勉強をすることも覚え、読んだり考えたり書いたりすることも覚えしました。物をみることも覚えしました。私は今日自分で多少なり物(注4)が書けたり、物をみたり、考えたりすることが出来るのは男のおかげだと思っています。T——その男を私はそう呼びます——は立派な頭の持主(注4)です。

.....

彼と結婚をするまではまるで無知な子供であった私は足掛け(注5)五年の間に彼に導かれ、教育されて、どうにか(注6)育ってきたのです。どうにか人間らしく物を考えることが出来るようになってきたので

(注1)行きあたりばったり：漫无计划，听其自然

(注2)苦もなく：不费力，简单地

(注3)いい加減(かげん)：适当，合适

(注4)持主(もちぬし)：持有者，所有人

(注5)足掛け(あしかけ)：前后大约

(注6)どうにか：总算，勉强